

平成26年度第1回島根労働局公共調達監視委員会（議事概要）

開催日及び場所	平成26年7月16日（水） 松江地方合同庁舎労働局専用大会議室	
委員	委員長	弁護士 高野 陽太郎
	委員長代理	税理士 杠 良智
	抽出委員	公認会計士 周藤 智之
審議対象期間	平成25年10月1日～平成26年3月31日の間に行われた工事の競争入札案件 0件 平成25年10月1日～平成26年3月31日の間に行われた物品・役務等の競争入札案件 4件 平成25年10月1日～平成26年3月31日の間に行われた工事の随意契約案件 0件 平成25年10月1日～平成26年3月31日の間に行われた物品・役務等の随意契約案件 1件	
抽出案件	競争入札によるもの4件、随意契約によるもの1件の合計5件	
審議案件	5件	
委員からの意見・質問に対する回答等	意見・質問・結果	回 答
	下記のとおり	下記のとおり

意見・質問・結果	回 答
【審議案件1：整理番号1】（物品・役務・一般競争入札） 「労災かくし」排除等に係る新聞広告委託契約	
入札参加資格の指定について、Dが基本となるときにBCを加えるのは、指名基準を見ると必要がある場合となっており例外のようだが、どのような基準で設定しているか。	島根においては比較的低額の案件が多いことから、B、Cの資格を持っているところが多ことから、多くの入札参加を得るため、B、Cの資格をできるだけ入れるようにしている。
入札公告2競争参加資格（5）に会社更生法に基づき更生手続きの開始が申し立てがなされていないこととあるが、確認はどのようにしているか。	応募書類の誓約書により確認している。
審議結果：適正	

【審議案件2：整理番号2】（物品・役務・一般競争入札） 島根労働局他県内各署所で使用するパソコン購入契約	
応募企業の財務状況は確認していないか。	労働局では行っていないが、参加資格を取得する際に決算書等の確認がされており、資格を持っているところは良好と判断している。
落札できなかった業者の等級は何か。	落札できなかった2社ともC等級である。
仕様書の内容はどのように決定しているか。	パソコンは専門的な知識も必要であり、業者から参考意見を聞き、参考にしながら必要最低限のものとなるようにしている。複数の業者から幅広く参考意見を聞くようにしている。
審議結果：適正	

【審議案件3：整理番号3】（物品・役務・一般競争入札） 非常用備品（毛布、簡易トイレ、水）の購入契約	
予定価格の積算に使用している参考品の選定はどうしているか。また、金額の高低なども考慮しているか。	インターネットを利用した検索によりヒットした物の中から参考品を選定している。選定にあたっては無作為抽出としている。
数量は何を基準にしているか。使用期限が来た際の在庫の管理はどのようにしているか。	職員（正規、非常勤）数を基準としている。 また、昨年度から調達を開始しており、期限が到来した物品は今のところない。
落札率が75%であり、予定価格の積算にもう少し工夫が必要と感じた。	応札業者の中で最下位のところは96.9%であり、適正な範囲ではないかと考えている。
審議結果：適正	

【審議案件4：整理番号4】（物品・役務・一般競争入札） 主要備品等購入契約	
各所属からの管理替え希望調書で出されたものは全て入っているか	全部ではない。優先順位を付け、予算範囲内で対応している。
必要性の判断は各所属でするのか。また、購入後の管理はどのようにされているか。	必要性の判断は各所属において行っており、内容によっては総務課から確認している。購入後は物品管理の台帳へ登録し管理している。
審議結果：適正	

【審議案件5：整理番号1】（物品・役務・随意契約） 「労働関係法のポイント 平成25年度山陰版」の増刷購入契約	
所要数3,000冊の根拠は何か。	担当部署である監督課において、集団指導用、各労働基準監督署の数量を積算している。
審議結果：適正	